

令和7年度広島県における料理人集積業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和7年5月13日（火）から14日（水）
2	場 所	書類審査のため、各委員に持ち回り
3	出席委員	広島県商工労働局 観光課 担当課長 広島県総務局 施策形成・広報担当部長 広島県総務局 広報課長 広島県商工労働局 地域経済支援担当部長 広島県農林水産局 農林水産ブランド戦略担当部長
4	議 題	令和7年度広島県における料理人集積業務にかかる審査
5	担当部署	広島県商工労働局 観光課
6	開催方法	持ち回り
7	議事内容	<p>審査は提案書の内容により、各選定委員が審査表に基づき採点した結果、業務予定者をひろしま料理人プロジェクトに決定した。なお当該事業者は合計点数が6割を超えており、事業者を選定することに選定委員からの異論はなかった。</p> <p>なお、次のとおり委員から評価・選定理由を確認した。</p> <p>【ひろしま料理人プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理専門誌と連携し、国内の著名な料理人を多く活用した魅力的な提案となっており、スケールの大きな事業の実施が期待できる。 ・独自のネットワークによる、首都圏の著名料理人を活用した企画内容は、新規性や独自性、また波及力も感じられ評価できる。 ・首都圏の料理人誘致については、専門雑誌掲載以外のアプローチや手法の工夫が欲しい。 ・広島県縁の料理人についての提案が極めて具体的であった。 ・将来の料理人育成メニューは、仕事の魅力を伝える要素が薄く、工夫が必要。 <p>【株式会社中国四国博報堂】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して目論見や内容に具体性があり、また、意欲ある指標を設定している点は評価できた。 ・食文化アカデミーについては、広島の魅力ターゲットに落とし込める工夫が凝らされている。 ・首都圏への波及力という点では物足りなさがあった。 ・小中学生企画の講師選定の理由がわかりづらく、成果を期待できなかった。 ・広島県出身や縁の料理人へのアプローチ方法が、すでに県で取り組んだ内容を超えるものではなかった。

		<p>【株式会社広島ホームテレビ】</p> <ul style="list-style-type: none">・テレビ局としての強みを生かした提案となっているが、企画内容について独自性や新規性があまり感じられなかった。・各ターゲットへの訴求力や首都圏への波及力という点で物足りなさがあった。・広島食文化アカデミーはすべてトーク方式と変化に乏しく、参加者の興味を引きつけられるか不安。また講師陣は、県がすでに事業をともに実施したことのある方が多く、新規性に乏しかった。・広島県出身や縁の料理人についての情報をどのように集めていくのかといった策についての詳細が乏しかった。
--	--	---